

## PFOS 及び PFOA 等の基準値と水質測定結果の取組み

### 1. 米国環境保護庁が「飲料水中の PFAS に関する最大許容濃度 (MCL)」を最終決定

米国環境保護庁が 2024 年 4 月 10 日、「飲料水中の PFAS に関する最大許容濃度 (MCL)」を設定 (最終決定) し、公表した。それによると、「飲料水中の PFAS に関する最大許容濃度」は以下のように設定された。

PFAS	MCL (最終決定) (法的拘束力あり)
PFOA	4.0ng/L
PFOS	4.0ng/L
PFHxS	10ng/L
PFNA	10ng/L
HFPO-DA (GenX)	10ng/L

(出典) Per- and Polyfluoroalkyl Substances (PFAS) Final PFAS National Primary Drinking Water Regulation

<https://www.epa.gov/sdwa/and-polyfluoroalkyl-substances-pfas>

### 2. PFOS・PFOAに係る水質の目標値等の専門家会議(第3回)の開催(環境省)

#### ■有機フッ素化合物 (PFAS) 評価書 (案)

(令和 6 年 (2024 年) 2 月 食品安全委員会 有機フッ素化合物 (PFAS) ワーキンググループ)

<https://www.env.go.jp/content/000201061.pdf>

#### <要約> (抜粋)

食品健康影響の指標値は、TDI (耐容一日摂取量) として PFOS は 20 ng/kg 体重/日 ( $2 \times 10^{-5}$  mg/kg 体重/日)、PFOA は 20 ng/kg 体重/日 ( $2 \times 10^{-5}$  mg/kg 体重/日) と設定することが妥当と判断した。PFHxS については、評価を行う十分な知見は得られていないことから、現時点では指標値の算出は困難であると判断した。

ただし、将来的に、今回の検討時には不十分であった PFAS の健康影響に関する研究・調査結果の一貫性、影響の度合いの臨床的意義、用量反応関係等に関する情報等の科学的知見が集積してくれば、TDI を見直す根拠となる可能性はある。

#### ■「有機フッ素化合物 (PFAS)」評価書 (案) に関する Q&A (2 月 13 日) 食品安全委員会

[https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo\\_map/pfas\\_faq.html](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/pfas_faq.html)

### 3. 東京都の PFOS 及び PFOA の調査結果

発がん性などが指摘されている有機フッ素化合物 (PFAS (ピーファス)) が各地で検出されている問題で、東京都は都内 260 カ所の地下水を対象にした調査結果を公表した。全体の約 1 割に当たる 17 区市の 28 カ所で、国の暫定指針値 (1 リットル当たり 50 ナノグラム) を超過。立川市や渋谷区では、最大で暫定指針値の約 6~12 倍の値が確認された。(岡本太)

都は 2021 年から、島しょ部を除く全区市町村で、地下水に含まれる PFAS の濃度を調べていた。当初は 4 年かけて調べる計画だったが、1 年前倒しして完了した。都は 24 年度にもう一度、260 地点で調査を実施。高い値が出た場所やその周辺などについては、必要に応じて追加の調査をすとしてしている（2024 年 4 月 4 日 東京新聞）

暫定指針値超の PFAS が 検出された自治体と最大値が		検出値	
		自治体	値
23区	文京区	120	
	台東区	67	
	世田谷区	74	
	渋谷区	330	
	練馬区	77	
	足立区	58	
多摩地域	八王子市	99	
	立川市	620	
	武蔵野市	85	
	青梅市	140	
	府中市	260	
	小平市	85	
	国分寺市	140	
	国立市	190	
	狛江市	410	
	武蔵村山市	65	
西東京市	80		

※ 単位の換算は、21年度、23年度、都調査。リットルあたり 50 以下。暫定指針値。

<詳しくは> 東京都 地下水 概況調査（多摩部）

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kankyo/gaikyoutougou3-4>

（別紙 多摩部。23 区は上記にアクセスしてください）

#### 4. 市独自の取組み

##### ◇ 調布市

##### ■市の管理する防災井戸等における PFAS 水質検査の結果と今後の対応

令和 5 年度における市の防災井戸等の水質検査結果

##### ・測定地点

市の管理する防災井戸 29 か所と湧水 1 か所の計 30 地点

防災井戸等について、いずれも飲用には使っていない。

##### ・検査期間

令和 5 年 11 月から令和 6 年 3 月まで

##### ・検査項目

PFOS、PFOA、PFHxS の 3 項目

##### ・水質調査結果数値(PDF : 507KB)

<https://www.city.chofu.lg.jp/documents/11516/2.pdf>

PFOS 及び PFOA の合計がの暫定指針値（50ng/L）を超えるのは 3 地点

（調和小学校、第三中学校、大町スポーツ施設。）最大 61 ng/L))

##### ■市の今後の対応について

1 市内における環境モニタリングの強化の一環として、令和 6 年度においても、引き続

- き、市の管理する防災井戸等 30 地点について水質検査を実施。
- 2 国の定める暫定指針値の超過が検出された地点については、引き続き経過を注視していくことが必要であり、国、東京都、専門家からの科学的知見を得て、低減措置等(効果が期待される活性炭による浄水など)の対策を実施。
  - 3 関係部署による庁内連絡会を新たに設置し、全庁横断的な連携を図りながら、引き続き、市民の不安に寄り添った対応に努める。

◇ 府中市

■ 公共施設の井戸における地下水調査の結果について

(2024 年 12 月実施)

有機フッ素化合物の分析結果 (単位：ng/l)

施設名称	検査項目	PFOS (注記1)	PFOA (注記1)	暫定目標値	PFHxS (注記2)
府中第八小学校		1未満	1未満	PFOS及び PFOAの合計 値： 50以下	2
四谷小学校		1未満	1未満		1未満
若松小学校		9	3		6
南白糸台小学校		18	19		19
府中公園		36	11		42
西府緑地		6	2		4
矢崎町防災公園		1未満	18		39
西府農業公園		2	27		134
総合体育館 (郷土の森博物館)		17	3		4

- 2024 年度は予算化されていない。

◇ 国分寺市

■ 有機フッ素化合物 (PFOS 及び PFOA) について

市における「むかしの井戸」の調査結果について

(市内公園に設置された「むかしの井戸」24 か所の調査を実施)

[https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/\\_001/031/062/2024.2..pdf](https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/031/062/2024.2..pdf)

2024 年 2 月の調査結果で、PFOS 及び PFOA の合計が暫定指針値 (50ng/L) を超えるのは 6 地点 (最大は北町公園井戸 北町 5-24 の 250 ng/L。ただし 6 地点とも前年度の数値を下回った)。

■ 今後について

経年変化を確認するために、今後も継続して調査を実施していく。

◇ 小金井市

■2024年2月15日、市民の会「みず循環PT」として、小金井市環境政策課環境係にヒアリングを実施。市は、これまで市独自のPFAS関連の調査は実施していないと回答。

■2024年度予算においても予算化されていないとのこと。

◇ 立川市

■市所有井戸における有機フッ素化合物調査結果

水質分析調査結果一覧（令和5年12月調査）

大山防災井戸については地下水の暫定指針値を超過し、それ以外の井戸は暫定指針値以下。

単位：ng/L

施設名	PFOS	PFOA	PFOS+ PFOA	PFHxS
第一小学校	23	8	31	40
第三小学校	10	2	12	7
子ども未来センター内 防災井戸	27	4	31	24
大山防災井戸	321	144	465	268
下水処理場	8	4	12	3
クリーンセンター	36	14	50	29
立川公園見晴の丘	9	3	12	5
立川公園ガニガラ広場	5	2	7	2

※柴崎市民体育館プールの水質検査の概要

場所	PFOS	PFOA	PFOS及びPFOAの合計	PFHxS
ろ過機室内ビット (井戸水原水)	11	6	17	<5

(柴崎市民体育館管理運営は指定管理者)

■今後についてはHPでは言及なし。